

## 第4章

# 未来をひらく人と文化を育む

## 〈教育・文化〉



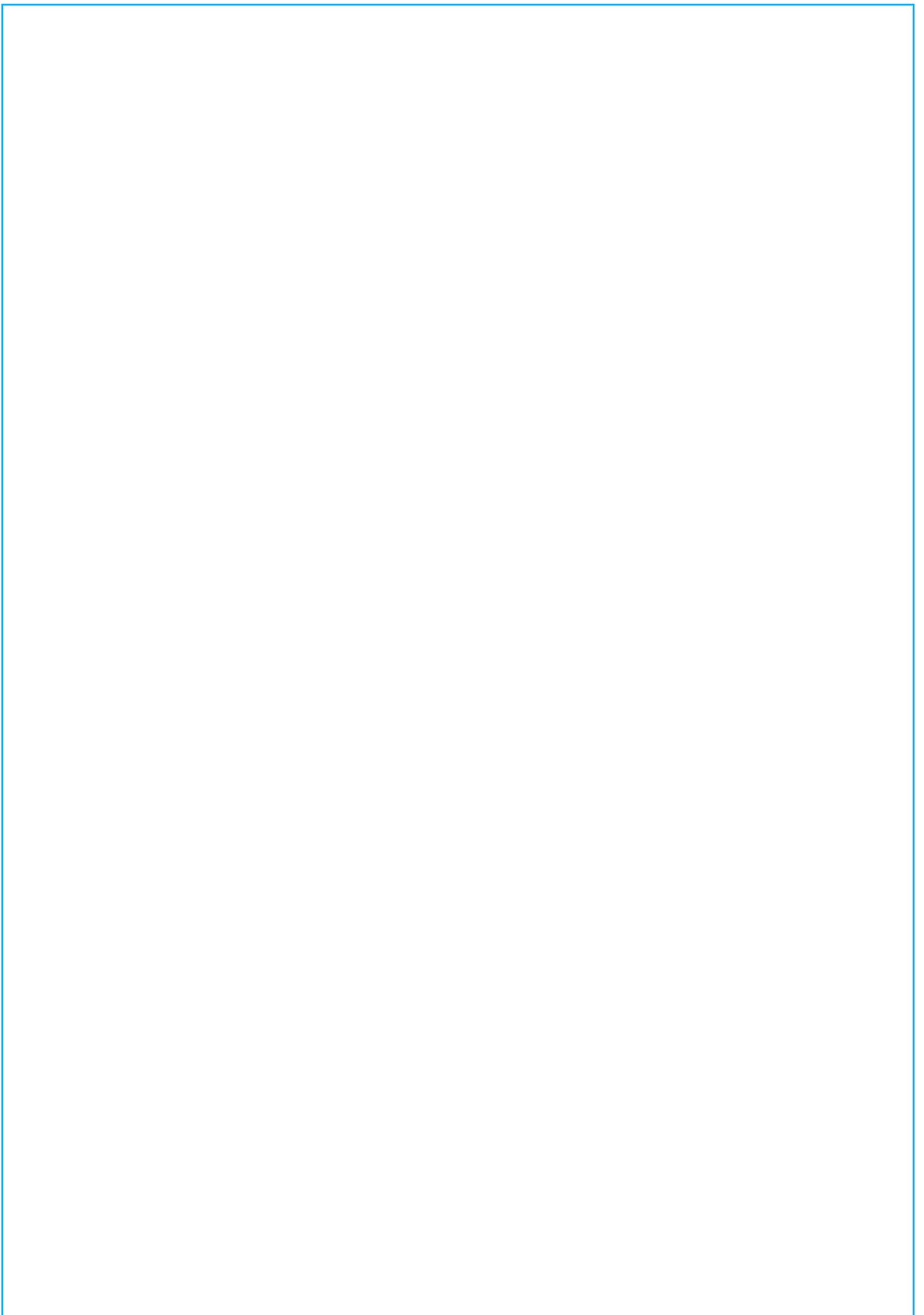
### ○ 実行計画の見方

- ・まちづくりアクションプログラムにおける実行計画については、平成 23 年度～30 年度の 8 年間を見すえながら、平成 23～26 年度の 4 年間の前期計画での取り組みを示しています。

- ・実行計画における「重点施策」「まちづくり戦略」については・・・  
重点施策：平成 23 年度～26 年度までの 4 年間で取り組む分野別前期計画のなかで重点的に取り組むべき施策

まちづくり戦略：基本構想の将来像の実現、定住化に向けて、平成 23 年度～30 年度までの 8 年間で取り組むべき事業

まちづくり戦略については、取り組みのなかで「◎」で表現してあります。



## 第4章 未来をひらく人と文化を育む

## 〈教育・文化〉

### 第1節 次代を担う人づくり

#### 1. 幼児教育と学校教育 「4-1-1」

##### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

幼稚園・小学校・中学校が教育方針を共有し、一人ひとりの発達に応じた教育が実践されることにより、自立心と社会性に富む人材が育成されています。

##### 〔基本目標〕

「生きる力」を育成する教育を推進するため、幼稚園・小・中学校の学びの連続性を捉えた教育を実践するとともに、家庭・地域との連携を強化し、「開かれた学校」を構築することにより、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体をあわせ持った子どもを育みます。

##### 〔現況と課題〕

- 新学習指導要領が小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度から全面的に実施されますが、円滑な実施に向けた取り組みを充実させていく必要があります。
- 国の子育て施策の一元化検討の動向や少子化をふまえ、幼稚園、小・中学校のあり方、適正規模・配置について検討する必要があります。
- 松田町では、松田町学校教育プランにおいて「生きる力の育成」を基本方針として掲げており、幼稚園、小・中学校が連携して、児童・生徒の各段階に応じた発達や必要・要求に応じた継続的な教育を実施していく必要があります。
- 学校施設や教材、設備の計画的な整備や教職員の資質の向上にも取り組んでいく必要があります。特に築36年が経過した松田小学校については、平成11年度に耐震補強等の大規模改造工事を行うなど、施設の更新に努めてきましたが、老朽化が進んでいることから、新校舎建設に向けた計画づくりを進める必要があります。

##### 〔基本目標指標〕

項目	平成22年	平成26年目標
子どもたちの学校に対する満足度	86%	90%
保護者の教育方針に対する理解度	80%	85%







## 2. 青少年健全育成 「4-1-2」

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

青少年を取り巻く環境の整備を行うことにより、青少年が心豊かにたくましく育ち、地域社会への参加や多様な体験をすることが実現しています。

#### 〔基本目標〕

家庭や地域の重要性を再認識し、学校・家庭・地域・町が一体となって青少年の健全な育成に努めるとともに、青少年が心身ともに健全に育つ社会環境づくりを進めます。

#### 〔現況と課題〕

- 青少年を取り巻く環境は、少子化・核家族化・都市化・高度情報化など社会環境の急激な変化にともない、有害な情報の氾濫など青少年の成長過程に様々な形で影響を与えています。
- 青少年が社会のなかで、自分の生きる方向性を主体的に見出し、自ら責任を持って行動できるよう、家庭・学校・地域・町が一体となって青少年の健全育成を進めていくほか、育成組織の充実・強化を図っていくことも重要な課題となっています。

#### 〔基本目標指標〕

項 目	平成 22 年	平成 26 年目標
青少年指導員活動回数	15 回	20 回
ジュニアキャンプ教室参加者数	61 人	70 人
ジュニアリーダースクール参加者数	54 人	70 人
広域連携中学生交流洋上体験研修参加者数 (後掲 P 92)	11 人	12 人
一市四町青少年交流キャンプ参加者数 (後掲 P 92)	4 人	10 人

〔実行計画の内容〕

施 策		①青少年団体の育成							
方針・目標		青少年の健全育成を促すため、PTA連絡会、子ども会、青少年指導員、少年少女スポーツ団体活動の支援を進めます。							
取り組み	実施主体	実施期間							
		23	24	25	26	27	28	29	30
支援組織の育成 (PTA連絡会・子ども会)	町	組織の育成・支援				▶			
青少年指導員の育成	関係機関 町	団体の育成・支援				▶			
青少年指導者講習会	関係機関 町	事業の実施・推進				▶			

施 策		②総合的な学習活動の場の充実							
方針・目標		青少年を対象とした事業への積極的な参加を促していくとともに、事業の総合的な充実を図ります。							
取り組み	実施主体	実施期間							
		23	24	25	26	27	28	29	30
ジュニアキャンプ教室	関係機関 町	事業の実施・見直し				▶			
ジュニアリーダースクールの開催	関係機関 町	事業の実施・見直し				▶			
広域連携中学生洋上体験研修	町	事業の実施・見直し				▶			
1市4町交流キャンプ	町	事業の実施・見直し				▶			

施 策		③家庭・学校・地域の連携の推進							
方針・目標		学校・家庭・地域が一体となり連携を図りながら青少年の健全な育成に努めます。							
取り組み	実施主体	実施期間							
		23	24	25	26	27	28	29	30
青少年の犯罪予防の強化	町民 関係機関 町	組織体制の推進				▶			

## 第2節 いつでも、だれもが学べる環境づくり

### 1. 生涯学習 「4-2-1」

#### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

町民一人ひとりがあらゆる場所で、あらゆる学習機会が得られ地域のコミュニティの実現につながっています。

また、図書館システムの整備により、町民ニーズに対応した図書資料の提供がより充実したものとなっています。

#### 〔基本目標〕

町民のニーズにあった学習事業の充実や、公民館・地域集会施設を活用した事業の展開を図ります。また、学校教育との連携を進めます。

年齢に関係なく学びたい人が、いつでも、どこでも学ぶことのできる場の提供・確保に努めます。

また、図書館では多様化する利用者ニーズに対応する資料の収集、迅速な提供に向けた検索システムの整備、また、利便性をあげる広域的システムの構築を進めます。

#### 〔現況と課題〕

- 図書館では、団塊世代の退職等による利用者の増加、若年者の本離れ、本を求める利用者ニーズの多様化などの変化にいかに対応していくか、また、利便性を上げる広域的なシステムの構築が今後の課題となっています。
- 高齢化・情報化・国際化による社会の変化を受け、町民の学習に対するニーズが多様化・高度化しており、生涯学習の充実・発展は、必要不可欠なものとなっています。

#### 〔基本目標指標〕

項目	平成22年	平成26年目標
各種講座の参加者数	1,251人	1,600人



### 第3節 豊かな文化の創造とスポーツの振興

#### 1. 地域文化の創造 「4-3-1」

##### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

文化活動の拠点である町民文化センターの補修を進め、利用者の安全性、利便性が図られています。

また、伝統芸能など町無形文化財の伝承の重要性を多くの町民が認識し、次代へ伝承していく後継者が育てられています。

##### 〔基本目標〕

公民館登録団体などの自主的な文化活動の活性化を進めるため、指導者や活動団体の育成・支援を進めていくほか、町民の芸術・文化活動の振興に向けた活動発表をする場の拡充に努めます。

今後、公民館の効率的な利用が図られるよう運営の改善を計画的に行っていきます。

また、文化財を保全・活用していくとともに、地域文化の伝承とあわせて、担い手の育成を進めます。

##### 〔現況と課題〕

- 松田町では公民館登録団体などを中心に文化活動が展開され、団体活動の発表の場として町文化祭が年1回開催されていますが、参加者の固定化や指導者・後継者不足といった問題もみられます。
- 町の文化財として19件の無形、有形の文化財が指定されているほか、この他にも指定されていないものもあり、これまでの知られていない足柄地域における町の文化や歴史的な価値を考え、町民の方が分かるように説明や表示などの整備を進めていく必要があります。
- 「松田の歴史探訪」や「文化財講習会」の開催を通して町重要文化財の保護や町民への啓発活動を行っています。
- 中学生対象の「民俗芸能伝承教室」の開催を通して町指定民族芸能文化財「大名行列」の後継者の育成、継承を進める必要があります。
- 町民文化センター施設は建設から約29年経過して老朽化が進んでいるため、今後大規模工事が求められています。施設全体の耐用年数を考慮した改修計画を作成する必要があります。

##### 〔基本目標指標〕

項目	平成22年	平成26年目標
文化活動に参加している町民の割合	4.2%	5.1%
文化芸術活動団体数	34団体	39団体





## 2. スポーツ・レクリエーション 「4-3-2」

### ■実現したいまち・暮らしの状態「各施策の取り組みが達成されたすがた」

だれもが・いつでも・どこでも気軽にスポーツを楽しむことができる場の普及と、健楽ふれあい広場、町民親水広場、町立体育館等社会体育施設の整備を図ることで、町内はもとより他市町からの利用者が増加しています。

#### 〔基本目標〕

町民一人ひとりが体力・年齢に応じた適正なスポーツ・レクリエーション活動が可能となるよう、拠点整備や各種スポーツ大会の開催、団体の育成、推進体制の強化を進めます。

#### 〔現況と課題〕

- 近年、健康や体力づくりの意欲が高まっているなか、スポーツに対する町民のニーズもますます多様化していますが、その一方では小学生など子どもの運動能力が低下傾向となっています。
- 子どもの体力向上に向けた諸施策を展開していくとともに、スポーツを通じた町民による世代間交流などの展開を図りながら、生涯に渡るスポーツ活動の支援・充実を図っていくことが必要とされています。
- 松田町のスポーツ・レクリエーション活動では、町・体育協会・体育指導委員などと連携し、各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催するとともに、各スポーツ登録団体による様々な活動が展開されています。
- 町内の様々なスポーツ施設は、町民のスポーツ活動の拠点として活発に利用されています。また、町立体育館は建設されてから47年が経過しているため、今後建て直しの検討も必要となります。
- 総合型地域スポーツクラブは、現在、設立準備をしている組織があります。この組織としての活動内容等は検討中のため、今後、町との連携方法などをふまえて対応を検討します。

#### 〔基本目標指標〕

項目	平成22年	平成26年目標
スポーツ教室・講習会開催数・参加者人数	7回・512人	12回・600人

